

資料 20：日本私立医科大学協会

「医学・歯学に係る検討事項〔大学審議会大学教育部会〕」についての意見書（平 2.11.6）

第 5 回私立医科大学・医学部学生生活実態調査報告書（平 3.5.23）

私立医科大学における研究環境の現状とその展望〔その 1〕（平 3.11.21）

医師国家試験の改善に対する意見〔要望書〕（平 4.5.

26）

私立医科大学における研究環境の現状とその展望〔その 2〕（平 4.9.1）

教授制度に関する調査まとめ（平 5.2.10）

私立医科大学は大学設置基準一部改正にどのように対応しているか（平 5.5.20）

資料 21：医学教育振興財団

J. M. E. F. (JAPAN MEDICAL EDUCATION FOUNDATION)

9 号 (1990)

10 号 (1991)

11 号 (1992)

12 号 (1994)

医学教育研究助成成果報告書

平成元年度（平 3.3 発行）

平成 2 年度（平 4.3 発行）

平成 3 年度（平 5.3 発行）

平成 4 年度（平 6.3 発行）

国内医科大学視察と討論の会報告書

第 10 回（平成 2）

第 11 回（平成 3）

第 12 回（平成 4）

第 13 回（平成 5）

米国の医学教育と教育病院（1992.2.10）

—平成元年度米国医学教育事情調査報告書—

米国の医学教育（監訳）（1992.12.20）

—機関・プログラム・課題—

第 2 回国際医学教育会議（1993.8）

—変革期の医学教育—

臨床研修モデルプログラム作成等検討委員会報告書（平 5.2.5）

臨床研修プログラム自己評価方法等検討委員会報告書（平 6.2.15）

平成元年度 医学教育研究助成成果報告書

目 次

1. はじめに	財団法人医学教育振興財団 理事長 懸 田 克 躬	
2. 卒後の臨床研修における総合診療方式の果たす役割に関する研究	研究代表者 竹 内 昭(順天堂大学医学部)	1
	他	
3. 大学医学部附属病院の医師卒後研修において果たす役割	研究代表者 松 田 博(愛媛大学医学部)	14
	他	
4. 総合診療方式研修医制度における到達目標達成度と問題点に関する研究	研究代表者 小 林 建 一(東京慈恵会医科大学)	24
	他	
5. 卒前医学教育カリキュラムにおける人類遺伝学のあり方	研究代表者 近藤 喜代太郎(北海道大学医学部)	33
	他	
6. パーソナルコンピューターを用いたシミュレーションによる薬理学教育の教育効果に関する研究	研究代表者 今 井 昭 一(新潟大学医学部)	40
	他	
7. 医学部における福祉関連教育とその評価に関する研究	研究代表者 鏡 森 定 信(富山医科薬科大学医学部)	53
	他	
8. 統合教育研究実習センターのシミュレーションシステムを活用した卒後研修についての研究	研究代表者 森 良 一(九州大学医学部)	66
	他	
9. 卒後医学教育・生涯教育のシステム化に関する研究	研究代表者 武 田 裕(大阪大学医学部)	75
10. 基礎医学教育にワークショップ形式を取り入れたスモール・グループ・ラーニング	研究代表者 松 村 豪 一(長崎大学医学部)	87
	他	
11. 新設医大におけるプライマリ・ケアの卒後教育に関する研究	研究代表者 清 水 久太郎(香川医科大学)	97
	他	

平成2年度 医学教育研究助成成果報告書

目 次

1. はじめに 財団法人医学教育振興財団 理事長 懸 田 克 躬
2. 基礎系および臨床系, 2つの自主学習を医学教育に採用した成果に関する研究
研究代表者 安 田 健次郎(慶応義塾大学医学部) 1
他
3. 医学教育における医事法の位置
研究代表者 唄 孝 一(北里大学医学部) 38
他
4. 医学卒前・卒後教育における評価に関する研究ーとくにStudent Evaluationと
Peer Review 法の検討
研究代表者 平 井 慶 徳(順天堂大学医学部) 52
他
5. 入学試験の因子分析により得た入学者の特質を考慮した医学教育の改善計画に
関する研究 研究代表者 中 嶋 泰 知(香川医科大学) 62
他
6. 救命救急センターにおける卒後研修の臨床教育にはたす役割
研究代表者 松 山 秀 介(横浜市立大学医学部) 67
他
7. 卒前の医学教育にスモール・グループ・ダイナミックス方策の導入
研究代表者 松 村 豪 一(長崎大学医学部) 72
他
8. 学生の主体性を育成する新しい薬理学教育の試み
研究代表者 田 中 利 男(三重大学医学部) 84
他
9. 卒前の臨床教育についてーとくに終末期医療に関する教育について
研究代表者 吉 田 豊(弘前大学医学部) 87
他

平成3年度 医学教育研究助成成果報告書

目 次

1	はじめに	財団法人 医学教育振興財団 理事長 懸 田 克 躬	
2	医学生の進路志望の決定過程に関する研究 —— 特にプライマリ・ケア 医養成の立場から ——	研究代表者 津 田 司（川崎医科大学）……………	1
		他	
3	入学試験の因子分析により得た入学者の特質を考慮した医学教育の改 善計画に関する研究	研究代表者 細 見 弘（香川医科大学）……………	7
		他	
4	医学部情報処理教育におけるコンピュータ通信の活用	研究代表者 池 田 憲 昭（北里大学医学部）……………	13
5	ニューイングランド医学雑誌での症例検討に基づいた呼吸器疾患鑑別 診断演習法の研究	研究代表者 大 江 和 彦（東京大学医学部）……………	21
		他	
6	卒業前の臨床教育について	研究代表者 佐々木 正 五（東海大学医学部）……………	27
		他	
7	基礎と臨床教育に必要な解剖学用語の選択	研究代表者 猪 俣 賢一郎（東邦大学医学部）……………	33
		他	
8	九州大学における正課授業としての基礎配置の検討	研究代表者 松 山 敏 剛（九州大学医学部）……………	48
		他	
9	我国におけるテュートリアル方式医学教育の実施に伴う問題点とその 対策に関する研究	研究代表者 神 津 忠 彦（東京女子医科大学）……………	55
		他	
10	試験の共通化による大学間の医学部薬理学教育改善の試み〔平成2年度研究助成〕	研究代表者 橋 本 敬太郎（山梨医科大学）……………	62
		他	

平成4年度 医学教育研究助成成果報告書

目 次

1 はじめに	財団法人 医学教育振興財団 理事長 懸 田 克 躬	
2 新しい医学微生物学教育カリキュラムの作成	研究代表者 林 英 生（筑波大学）……………	1
	他	
3 診断・治療シミュレーション教育システムの開発	研究代表者 喜多村 勇（高知医科大学）……………	26
	他	
4 Tutorial 導入による卒前臨床教育について	研究代表者 橋 本 葉 子（東京女子医科大学）……………	40
	他	
5 入学試験の因子分析により得た入学者の特質を考慮した医学教育の改善計画に関する研究	研究代表者 宇 多 弘 次（香川医科大学）……………	48
	他	
6 ロールプレイを活用した面接問診法の卒前教育に関する研究	研究代表者 山 本 博 道（九州大学医学部）……………	52
	他	
7 卒前・卒後の臨床教育と医学生の行動パターンに関する研究	研究代表者 高 田 良 久（富山医科薬科大学医学部）……………	59
	他	
8 卒業前の臨床教育について	研究代表者 玉 置 憲 一（東海大学医学部）……………	66
	他	